

53年度予算編成方針

政策経費要求115%に

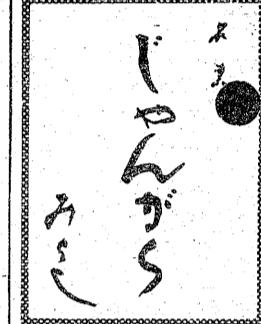
いわき市は六日、五十三年度の予算編成方針をまとめ、助役名で各部課に通達を出した。いわゆるベタクレーションの長期化伴い、市税収入などの大幅な伸びが期待できず、財政硬直化が一段と進行しそうなことが、歳出面でひびきをはめが必要があるとしているのが特徴。具体的には前年度当初予算額に対して、①経営経費の伸びはゼロ②行政経費の要求限度額は105億円以内と定めており、国と同様公債に依存しながら、ビスの向上を図りながらとしている。

重点選別主義を採択 サービス向上を目指す

国と同じく起債依存型

いわき民報

郵便番号 970
いわき市平字田町63-7
◎振替口座(都山)4028
本社 0246 23560
小名浜支社 0246 23830
常磐支局 0246 22903



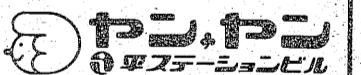
14日に物価モニター会議
二ターミナル
県物価対策本部
県物価対策本部
時から県いわき合同庁舎で、浜通

り地物価モニター会議を開く。
年末年始を控えて行つた食料品小
売価格調査の進め方について話し
合つもので、当月消費者物価
生活物資調査、経済企画庁物価の
それぞれモニター三十四人が参加
する。

歳末ゴールデンフェア ワン・モア・チャンス抽選 (商品券10,000円)

第1回ご当選者氏名

小林良男様
山美智子様
根本洋子様
田中義枝様
三瓶桂子様
村山妙子様
志賀園一様
猪狩昌和子様
松崎波江様
日野くら様



○…いわきの冬物イワシの
盛りあがるとしているが、
イワシの干物は節分前が需要
の関係で勝負となり、おもろ
の味としても根強い販路があ
る。北西の乾いた季節風が吹
くと魚の仕上がりも上々、こ
れからがおいしい季節である。

これからおい
しいほお刺し

信用あるブランド
アマヒラ
行き届いた設計で
高く評価されています
福島県浜通り代理店
萩金庫
平谷川瀬 074-2631-3352

予算編成方針の考え方としては、
まず年度間に立った予算を編成、
次に予算は年次予算とはばら
易い新規予算は原則として認め
ず、公共施設など民間委託が適
切なものは積極的にこれを實現化
する。さらに特別会計(土地区画整
理事業など)についても一般財
政事業などに同じくして予算を編成、
計からの収支の財源持出しは認
めないとされている。

特に、現在策定作業が進められ
ている市総合計画との関連では、
計画から予算の財源持出しは認
めないとされている。
来年六月議会から答申予定のた
めに、同計画が確定した段階で初年
度分ができるだけ当初予算に反映
するとしており、新たな試みとして
は政策経費のワク外要求を認めて
いるのが注目される。

来年六月議会から答申予定のた
めに、同計画が確定した段階で初年
度分ができるだけ当初予算に反映
するとしており、新たな試みとして
は政策経費のワク外要求を認めて
いるのが注目される。

〔申わけありません〕と中央
署に提出して来た。恐らく新聞
紙に載ったのでない。同僚の頭に
泥を塗ったツミも重い。

〔申しわけありません〕と中央
署に提出して来た。恐らく新聞
紙に載ったのでない。同僚の頭に
泥を塗ったツミも重い。

個性美と豊富な攻略ルートを秘めた
チャンピオンコース

予約受付
089-2421

Japon
常磐湯本カントリー俱乐部

会員募集中

会員募集中

新日本総業株式会社

代表取締役 小達寿吉

本社 東京都田無市本町1-7-16(森ビル8F)

いわき営業所 いわき市平字小太郎町(日新ビル5F)

00246-74-8611
現地 089-2421

カハラへの旅

峰丘

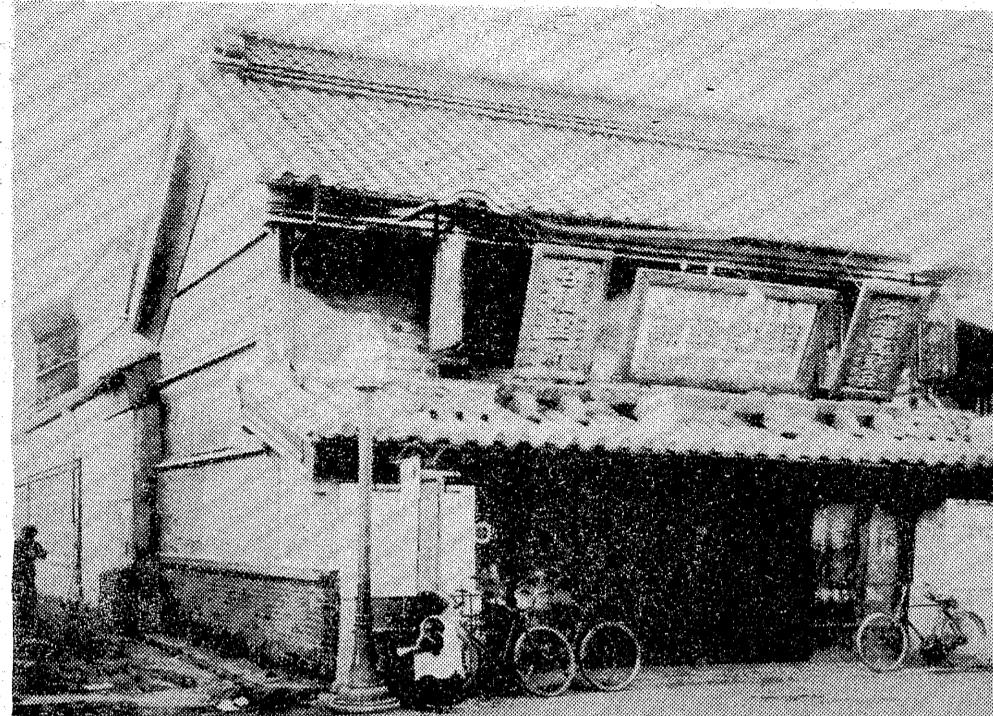
従姉妹に「新内小唄」の唄聞かれて、歌詞を聞いて、次のように唱を教えてくれたことがある。

「浮草の身は定めな妾根なし草。かなめ身は流れのままだ。雨にたかれ、風にはまれるべきだ。さはじの日が三線練の昔の調子」と。

好きな新内小唄のひとつであるこの「浮草」は、テラシネのある意味での真理だろう。時々、メキシコでこれに似た心境を味わつたものだ。

松尾芭蕉は、「羅原辻の行脚、捨ね無情の観念、道路に死なん是れ天の命なり」とはまことにいつの哲学であ

て、ノスタルジアの感が強い。物語や歌などの採取アレルギー精神的緊張、疲労からも



300年余も続いている平で一番古いといわれる「西村屋」

バナナだけの食事

思い出多い異邦の喜怒哀楽

従姉妹に「新内小唄」の唄聞かれて、歌詞を聞いて、次のように唱を教えてくれたことがある。

「浮草の身は定めな妾根なし草。かなめ身は流れのままだ。雨にたかれ、風にはまれるべきだ。さはじの日が三線練の昔の調子」と。

好きな新内小唄のひとつであるこの「浮草」は、テラシネのある意味での真理だろう。時々、メキシコでこれに似た心境を味わつたものだ。

松尾芭蕉は、「羅原辻の行脚、捨ね無情の観念、道路に死なん是れ天の命なり」とはまことにいつの哲学であ

て、ノスタルジアの感が強い。

食物や歌などの採取アレルギー精神的緊張、疲労からも

これがまた一つの哲学であ

り、彼はまた一つの哲学であ

る。

これがまた一つの哲学であ

